



市議会だより

きたあきた

五穀豊穡祈願！

伝統の郷土芸能を奉納

～ 八幡宮綴子神社例大祭 ～

No. 41

平成26年8月1日発行

6月定例会

- 本定例会の審議 2
- 政治倫理条例に係る報告 3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～11
- 臨時議会・議案の表決状況 12
- 林活議連総会・所管事務調査報告 13
- 請願陳情・人事案件 14

伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設新築

工事請負契約や補正予算などを原案可決

平成26年北秋田市議会6月定例会は、6月17日（火）から6月27日（金）までの11日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案2件、予算案11件、陳情2件等27件の議案等が提案され、すべての議案等が原案のとおり可決されました。可決された議案等は、子ども・子育て会議設置条例の制定、平成26年度各会計補正予算、伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設と鷹巣陸上競技場トラック改修の工事請負契約締結、財産取得などです。

子育て世帯臨時特例給付金など

平成26年度一般会計補正予算案は、歳入歳出それぞれ1億3882万円を追加し、予算の総額を238億8252万円とするものです。

主な歳出は、旧竜森小学校体育館解体工事費1876万円、過疎集落等自立再生対策事業補助金1750万円、子育て世

帯臨時特例給付金2763万円、青果物振興対策事業補助金836万5千円、阿仁合小学校教室棟改修事業費806万8千円、前田小学校体育館屋根改修事業費1553万8千円などです。

工事請負契約の締結は、伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設新築が1億9828万8千円（消費税込み）で（株）佐藤庫組（佐藤昌郁代表取締役）と契約、工

期は平成27年3月20日までです。

陸上競技場トラック改修が1億7064万円（消費税込み）で長谷川体育施設（株）秋田営業所（田中広克所長）と契約、工期は平成26年12月1日までです。

除雪車両の新規購入など

財産取得は、ロータリ除雪車（2・2m幅）と除雪ドーザ（13・14t級）の購入。ロータリ除雪車は3456万円（消費税込み）、除雪ドーザは1801万4400円（消費税込み）で、いずれも市材木町の暁商工（株）（知野均代表取締役）から購入するものとし、納期は平成26年11月26日までです。

また、少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、

2015年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書と、手話言語法（仮称）制定に関する意見書の提出を求める陳情書を採択し、それぞれ意見書を送付することとしました。

監査委員などの選任に同意

監査委員は、黒澤芳彦氏（62）〓米内沢字黒沢15番地21〓の選任について無記名投票を行い、賛成14票、反対4票の賛成多数で同意しました。

また、農業委員は、議長による指名推選で行い、佐藤利子氏（57）〓七日市字道上3番地〓、金田悦子氏（48）〓根田字西16番地〓、樋岡悦子氏（60）〓米内沢字長野73番地〓、伊東誠子氏（61）〓阿仁伏影字水上沢口134番地〓の女性4人を推薦することとしました。



すべての議案が原案のとおり可決された市議会6月定例会

議会議員政治倫理条例

「北秋田市議会議員政治倫理条例」は、議員が遵守すべき政治倫理について具体的にその基準を定め、議員が市民の負託を受けた代表であることを認識し、より一層の政治倫理の確立に努めることにより、公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的としています。

議員は、就業の報告義務（第5条関係）があることから、その報告内容について下記のとおりお知らせします。（※平成26年4月現在／任期、所在地は除く）

北秋田市議会議員関係私企業及び就業報告

No.	氏 名	職 業	私 企 業 名	本人実質経営企業（役職名等）	本人代表等（役職名等）
1	松尾 秀一	自営業	鷹巣トレース	鷹巣トレース（代表）	鷹巣トレース（代表）
2	山田 博康	旅館業	阿仁の森ぶなホテル	阿仁の森ぶなホテル（経営主）	阿仁の森ぶなホテル（経営主）
3	三浦 倫美	無職			北秋田ふるさとを愛する会（代表）
4	佐藤 光子	無職			北秋田市芸術文化協会（副会長兼合川支部長）
5	大森 光信	会社員	㈱おおもり	㈱おおもり	秋田内陸線エリアネットワーク（会長）
6	小笠原 寿	会社員	(有)小笠原工務店	(有)ホテル駅前（取締役社長） (有)ディップス東北（代表取締役） (有)オーエヌプランニング（代表取締役）	大館・北秋田建築士会（副会長） 北秋田市商工会（理事） 北秋田地区建築設計者協会（理事） 鷹巣建設技能組合（専務理事） 秋田スギネットワークたかのす（理事）
7	佐藤 文信	農業		農業（経営主）	北秋田市鷹巣土地改良区（理事）
8	吉田仁吉郎	農業		農業（経営主）	森吉町土地改良区（理事）
9	板垣 淳	政党役員	日本共産党 北鹿地区委員会	板垣運送（経営主）	板垣運送（経営主）
10	黒澤 芳彦	司法書士	公益社団法人 秋田県公共嘱託登記司法書士協会	黒澤芳彦司法書士事務所	黒澤芳彦司法書士事務所 大杉自治会（会長）
11	中嶋 洋子	無職			北秋田市・上小阿仁村連合婦人会（会長） 鷹巣地区交通安全母の会（会長） 北秋田市・上小阿仁村結核予防婦人会連合会（会長） 鷹巣赤十字奉仕団（委員長）
12	武田 浩人	無職			
13	福岡 由巳	無職			
14	佐藤 重光	農業		農業（経営主）	北秋田市鷹巣土地改良区（理事）
15	長崎 克彦	農業		農業（経営主） (有)相馬鉱業（代表取締役） 農事組合法人坊沢営農組合（代表理事）	北秋田市鷹巣土地改良区（副理事長）
16	久留嶋範子	無職			
17	松橋 隆	会社役員	(有)ベストホーム	(有)ベストホーム（顧問）	
18	庄司憲三郎	農業		農業（経営主）	
19	堀部 壽	農業		農業（従事者）	
20	関口 正則	農業		農業（経営主）	

総務文教

学校修繕の対応は早急に

当委員会に付託された案件は、予算案2件、単行議案2件、陳情1件でした。

平成26年度北秋田市一般会計補正予算(第2号)所管分については、阿仁合小学校の教室棟の床及び前田小学校体育館の修繕について、緊急性が高く、対応が遅れたのではないかと、また、市内の学校においても、修繕が必要とされる要望があるのではないかとこの質疑がありました。

前田小学校の体育館については、屋根の腐食について昨年度あたりからかなりひどい状況が見受けられ、屋根を確認したところ、だいぶ劣化が進んでおり、今

校については、平成25年1月に水道管が破裂して水漏れが発生し、教室と廊下が水浸しになり、その時は応急措置で対応していたが、その水漏れの状況により現在の床の膨れ等が発生し、非常に危険になったため、予算を計上したと答弁がありました。

回ふき替え予算を計上したとの答弁がありました。また、市内の学校からの修繕の要望は、3カ年計画に載せているものが10件、それ以外にも相当量の要望があるが、緊急性を伴うものの以外については、学校の統合計画を見合わせながら中長期的な計画を立てて対応してまいりたいとの答弁がありました。

伊勢堂岱遺跡の見学環境の整備へ

ガイダンス施設は、コンクリート造1階建て、展示室、体験学習や映像コーナーのエントランスホールなどを設ける。展示室は、遺

跡の出土品や発見により分かったこと、縄文時代の生活など、テーマごとに展示を行う方針。出土品は、伊勢堂岱遺跡のほか、藤株遺跡や森吉山ダム関連遺跡などのものも展示する計画です。

整備計画は、平成23年度から実施している遺跡周辺整備の一環。これまでに環状列石の復元や、案内板の設置などが行われました。施設建設地の周辺には、大型バス10台分、約120台分のスペースを確保する駐車場を整備する計画で、世界遺産登録に向けた見学環境の整備が本格化します。オープン時期は平成28年4月を予定しております。



早急な対応が求められた学校修繕

当委員会に付託された案件は、陳情を含め全て全会一致で原案可決、採択すべきものと決しました。

(委員長 佐藤重光)

市民福祉

北秋田市子ども・子育て会議設置

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案6件、陳情1件の計9件でした。

健康福祉部関係では、北

秋田市子ども・子育て会議

設置条例の制定については、保育園等のあり方検討会との関連性はあるかとの質疑があり、子ども・子育て会議は、就学児や保育園に入

っていない子どもも含めた、もう少しテーマが大きい委員となるので、メンバー構成も変えるべき、と判断したとの答弁がありました。

また、委員からは、事業計画に、市民や関係者の意見をきちんと盛り込むための工夫が必要ではないか、ペースとなる計画はいつ頃に提示されるのか、との質

疑があり、当局からは、子ども・子育て計画は目標を並べるだけではなく、数値目標を持って、いつ何をやるか、それを具体化する計画だと認識し、委員の方々には関心を持った方にたくさん入っていただき、率直で現実的な提案をしていた

だきたい。子ども・子育て会議は7月以降の開催を予

定しておりますが、第1回の会議に、計画の素案を示すようなスケジュールで進めたいとの答弁がありました。

一般会計補正予算については、子育て世帯臨時特例給付金の職員の時間外手当の内容について質疑があり、当局からは、臨時職員1名

と職員が分担し、3カ月をめどとして短期間で集中的に行いたいとの答弁がありました。

生活困窮者自立支援制度について

生活困窮者自立支援制度施行円滑化対策事業委託については、どのような方が

対象になるのか、また、内容はどのようなのか、との質疑があり、当局からは、トラブルや問題を抱えた方の相談を受けて、一緒に解決方法を考える。あるいは、就職支援や職業訓練などを総合的に実施して支援を行い、生活困窮からの脱却をするための手助けを行うシステムであるとの答弁があった。

りました。

市民生活部関係及び消防本部関係の一般会計補正予算案、関連予算案は、人事異動に係る人件費の補正が主なものでありました。

以上、審査の結果、当委員会に付託された健康福祉部、市民生活部、消防本部

の議案・陳情については、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 小笠原 寿)



子どもは国のみらいです

産業建設

農地中間管理機構スタート

当委員会に付託された案件は、予算案5件、単行議案3件でした。

平成26年度一般会計補正

予算所管分では、「農地中間管理機構」に伴う、臨時職員賃金127万円についての質疑に対し、今年から新たに、国の方に設置された、農地の流動化、受け手出し手ということで、規模拡大に伴うところの事務受付とか、登記に係る窓口事務賃金との答弁でした。

また、農地の流動化を一

番把握しているのは農業委員会だと思うが、との質疑に対し、今回、農業委員会は業務委託の対象になっていないとの答弁でした。

また、未来にアタック農業夢プランの、個人や法人等の質疑に対し、えだまめ日本一を継承しながら、事業主が4法人、認定農業者が11件、ねぎ周年体制は1法人、3認定農業者、さらに、ニーズ対応型で今回新たにブロッコリーが1法人との答弁がありました。

また、地域人づくり事業の観光案内人を2人採用について、これから伊勢堂岱遺跡とか観光面でかなり拓けてくると思うので、期間終了で終わるのではなく、大事な業務として考えていただきたいとの質疑に対し、7月から来年6月まで対応したいと思っている。市を売り込む絶好の機会であるので、引き続き進めたいとの答弁がありました。

また、道路維持の設計委託料300万円について、総予算の見込額はどの程度か、との質疑について、これから県との協議内容によつては、動きが生じてくると思うが、1800万円は

どを想定しているとの答弁がありました。

除雪車2台購入

次に、単行議案(除雪ドザー)、(ロータリ除雪車)の取得について、古い車両は即廃棄処分するののか、との質疑に対し、2台については、市管内所管替えを考えている。老朽しているもので、本来処分というのが適切な形ではあるが、大きな修繕がかかるまで、商工観光課で活用するとの答弁がありました。



更新される除雪車両

審査の結果、当委員会に付託された全議案を全会一致で原案のとおり、可決すべきものと決しました。

(委員長 庄司憲三郎)

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う

▶各議員の質問に答弁する津谷市長



一般質問は、6月19日・20日に行われ、10名の議員が市長に対して、子育て支援制度、人口減少問題、消防団の処遇、企業誘致、介護予防、保育園の運営など様々な問題についてたどしました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

保育料減免について



佐藤 光子 議員 (みらい)

問 保育料第2子半額、第3子以上無料の条件が、兄弟が同時に入所している場合に限定されていますが、この条件を改善できないでしょうか。

答 今後の参考とさせて頂きませんが、今年度から広く子育て世代全般に波及する保育料の減額改定を実施したところであるため、今しばらく、その改定による効果等検証させて頂きます。

問 (再質問) 広く全体に支援できるようにという考えで様々な政策、支援等していくという考え方に異論はありませんが、それなら、

年子でどんどん産まなければ受けれないこの制度への条件こそがピンポイントで公平さに欠けるのではないのでしょうか。

答 保育料の減額改定を少し検証させて頂きながら、議員ご指摘の条件改善について、どういうものがネックになってくるのかも含め少し検討をさせて頂きたいと思っています。

問 (再々質問) どん

答 改めてそうか、そういう指摘もあるのだなど、これはやはり担当と話し合いながら、急いでその検証はやらせて頂きたいと思っています。

議員：制度の条件改善を

市長：現行制度含め検証したい

※このほかに、次の質問をしました。

- 市長の考える少子化の原因について。
- 市長の考える少子化対策の展望について。
- 子育て世代との意見交換の場を。
- 秋田25市町村対抗駅伝ふるさと秋田ラン！について。



希望が持てる支援策を

共働のまちづくりとは



武田 浩人 議員（緑風・公明）

を対象者全員に対して行っているのか。例えば、出向いて聞き取りをするなどの方法も検討されている。

問 アンケート調査などでは若い世代の参加が少ないことが課題であり、市が行っている市民意識調査でも年代の若い層ほど回収率が低い。今後、若い世代

の定着を図るために定住支援事業を積極的に進めたいと考えており意識調査を行う際には直接出向いて意見を収集することも考えたい。

問 消防団支援法では団員の年額報酬などを国が示す額までの引き上げを求めているが、

答 年額報酬及び出勤手当は、県北4市の中

議員：消防団員の処遇改善を 市長：指摘のとおり検討する

で当市は平均より少し高くなっている。また機関員手当として月5千円を支給している。今後は、年額報酬と出勤手当の改善について近隣市町村の動向を考慮して検討したい。

尚、退職報奨金は本年4月の改正により一律5万円を増額している。

問 自治体職員の消防団への入団を積極的に行っているかどうか。

答 市職員が消防団で



消防団は地域防災の要

介護保険制度改正への対応は



久留嶋 範子 議員（共産党議員団）

ます。各種サービスの質の後退、負担の拡大とならない対策が必要と思うが、どのように考えていますか。

答 医療介護を一体で改革する「地域医療・介護総合確保推進法」が成立したばかりであ

り、未確定な部分が多く具体的な話ではない。介護サービスを増やせば、平成27年度からの介護保険料を上げるを得なくなるが、介護保険制度は介護を要する人の生活を守るセーフティネットであ

問 介護保険制度の改正は「要支援」認定者が利用する訪問介護と通所介護を保険給付から除外し、各自治体の事業に移すことが柱となっていています。予算が圧縮され、サービス単価や人件費切り下げ、利用者の負担増となり



大きく変わる農協のあり方

議員：国の農政改革、見解は

市長：農業は市の基幹産業

ることから、引き続き国へ公費負担の嵩上げを求めているほか、介護保険財政調整基金を活用して介護保険料の軽減に努めたいと考えます。

問 農協のあり方を検討する政府の農政改革には現場から批判の声が上がっていますが、地域農業への影響をどのように考えますか。

答 最終的な形が明確にならない段階での発言は控えたいが、これまでも議会等で述べているように農業は市の基幹産業であり、農業

問 市に暮らす全ての住民が、満ち足りた生活ができる環境整備が自治体の責務だと考えています。今後必要な施策を地道に展開していきたいながら、子育て世代への支援、働く場の確保対策などを推進していきたいと思っています。

業務効率と利便性向上の実現を よりよい保育環境を



大森 光信 議員（みらい）

問 今後、業務効率の向上と市民の「ワンストップ」利用を実現するために、市長部局を本庁舎に集中させるべきではないか。

答 世界遺産推進室の設置については、今年度建設する「伊勢堂岱遺跡のガイダンス施設」を情報発信や登録推進の機能が果たせないかどうかを十分に検討し、世界遺産登録を見据えた観光や交流人



世界遺産登録が期待される伊勢堂岱遺跡

議員：人口減少抑制対策は 市長：定住促進基本方針を策定

問 今後、業務効率の向上と市民の「ワンストップ」利用を実現するために、市長部局を本庁舎に集中させるべきではないか。

答 世界遺産推進室の設置については、今年度建設する「伊勢堂岱遺跡のガイダンス施設」を情報発信や登録推進の機能が果たせないかどうかを十分に検討し、世界遺産登録を見据えた観光や交流人

問 人口減少の原因は様々考えられるが、それらを克服するために市が展開しようとしている施策は何か。また、子どもを産み育てできる年齢層の社会動態減少幅を抑制する手法は考えているか。

答 人口減少対策として、昨年から「定住促進基本方針」の策定を進めている。今後具体化する事業としては、雇用の創出・就業支援施策として、「北秋田

市奨学金返還支援制度」の創設を検討している。これは全国的にも特徴のある支援制度である。このほか、空き家バンク制度などの実施に向けた取り組みを進めており、秋田県が進めている定住促進事業と併せて、若年女性を含めた将来のまちづくりの中心となる子育て世代を主なターゲットとして、積極的にPRしてまいりたい。

問 北海道・北東北の縄文遺跡群のひとつである伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けて、市民への機運をさらに高めるため、また、市内外にPRするために

生涯学習課内に世界遺産登録推進室を設置するべきではないか。

答 世界遺産推進室の設置については、今年度建設する「伊勢堂岱遺跡のガイダンス施設」を情報発信や登録推進の機能が果たせないかどうかを十分に検討し、世界遺産登録を見据えた観光や交流人

口の増加に対応したまちづくり等の大きな課題を、関係部署と協議検討をしていきたい。



板垣 淳 議員（共産党議員団）

問 市立保育園を民間移管する計画が進められているが、経費節減よりも、よりよい保育環境にすることを第一に考えるべきではないか。

答 浮いた財源は、保育料値下げや民間保育園への助成など、他の子育て支援に使いたい。



民間移管予定の鷹巣中央保育園

問 通園バスの廃止も検討しているが、過去に統合の条件として導入しておきながら、廃止するのはおかしくないか。

答 今後、議論を深めたい。

問 保育士の資格をとった若い人が北秋田市では働かない。それは正職員としての採用がないし、非常勤職員は待遇が悪すぎるから。

議員：教育委員会「改革」問題あり 教育長：大きな影響ない

市長は若者の定住促進に取り組むと言うが、だつたらまず、市みずからが率先して若い人が働ける環境にするべきではないか。

と子どもたちに教え、戦争に突き進んで行った軍国教育の間違った反省に立って、今の教育委員会制度が創られた。政治は教育の内容までは介入しないとす

問 保育現場で、労働基準法に違反している実態はないか。

答 改善に取り組みたい。

権は来年度から介入できるように変える。教育長は、これが子どもたちにどういう影響をおよぼすとみているか。

問 調査します。

問 安倍政権は、これまでの自民党の立場さえ投げ捨て集団的自衛権の行使を容認し、戦争する国づくりを進めている。恐ろしいことであり、断じて許すわけにはいかない。戦前、お国のために血を流せ

とは思っていないが、危惧されていることは払拭できればいいと思う。

市奨学金返還支援制度」の創設を検討している。これは全国的にも特徴のある支援制度である。このほか、空き家バンク制度などの実施に向けた取り組みを進めており、秋田県が進めている定住促進事業と併せて、若年女性を含めた将来のまちづくりの中心となる子育て世代を主なターゲットとして、積極的にPRしてまいりたい。

と子どもたちに教え、戦争に突き進んで行った軍国教育の間違った反省に立って、今の教育委員会制度が創られた。政治は教育の内容までは介入しないとす

企業の誘致について 市長公約の前進は



松橋 隆 議員（みらい）

問 企業誘致について、今まで取り組んできた結果の検証をしているのか。

答 県内誘致企業との情報交換、市独自でも市内誘致企業の方々の交流会等行っており、意見交換情報交換を行っている。

問 現在、北秋田独自で誘致に向けて折衝している企業はあるのか。

答 現在、数社の企業と折衝中である。

問 合併当初私は、企業誘致の必要性を訴えて対策室が設置され専任職員が配置されたはずでありましたが、現在それがありません。いつどういった理由で廃止になったのか。

答 平成21年4月の機構改革を経て、商工観光課商工労働班が企業誘致に関する事務を引き継いだことにより発展的に廃止された。

問 企業だけでなく県内の分室、あるいは研究所等の誘致を考えるとないのか。

答 打当地区の秋田県

議員：介護予防の先進地は

市長：埼玉県和光市

る各種研修や体験活動などを通じて若い感性による企業創出の可能性にも大きな期待を寄せている。

問 今後この企業誘致に関しての取り組みについて基本的考え方は。

答 具体的取り組みとして、県主催のあきたリッチセミナーに継続的に参加しながら関係機関との情報共有を図り、企業誘致に係る担当職員を首都圏に専従させる事も視野に入れて取り組んでいく。



当市の介護予防の取り組み

内水面試験地で予定されているクニマス増殖事業につきましては、地域産業への波及効果や雇用増大にもつながる事から積極的に既設の規模拡大へ働きかけたい。さらに、地元秋田北鷹高校生のインキュベータ体験学習や秋田大学北秋田分校によ

問 介護予防の先進的取り組みをしている自治体は。

答 埼玉県和光市が目されている。要介護認定者が12％以下だったという報告もある。



佐藤 重光 議員（新創会）

問 市の財政の健全化と二期目の公約は力強く前進しているのか。

答 実質公債費比率、平成25年度の数値がまだまとまっていけないが、ここ2、3年の数値と大きく差がない。財政調整基金残高は、平成25年度末で24年度末よりも7億9千6百円増の62億3千4百円を見込んでおり、地方交付税の一本算定による減少に備えた取り組みを進める。中心市街地活性化は、積雪寒冷期における高齢者などの歩行者に配慮した、歩いて暮らせる街づくりと、児童生徒の安全な

将来負担比率等、平成25年度の数値がまだまとまっていけないが、ここ2、3年の数値と大きく差がない。財政調整基金残高は、平成25年度末で24年度末よりも7億9千6百円増の62億3千4百円を見込んでおり、地方交付税の一本算定による減少に備えた取り組みを進める。中心市街地活性化は、積雪寒冷期における高齢者などの歩行者に配慮した、歩いて暮らせる街づくりと、児童生徒の安全な

議員：安全で安心な暮らしを

市長：安全へより努力をする

登下校や、人のにぎわいのある中心市街地の

形成に適した歩行空間の確保を図るため、駅前の歩行空間整備事業を29年度の完成を目指して取り組んでいる。（仮称）生涯学習交流施設は、活性化に向けたワークショップを開き、市民の声を反映させたにぎわいづくりの具体策をまとめる。また、平成25年度から事業実施します「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」の着実な実行をし、交流人口の拡大と活性化を図ってまいります。

問 高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていくために、今以上の努力を。

答 医療・介護・福祉の連携による安定したサービス提供と、地域全体で高齢者の自立した生活を支援する取り組みが必要となります。27年度より始まる「高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」の中で、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが適正に提供できる「地域包括ケアシステム」を構築し、早急に具体化できるよう取り組んでまいります。



市内の介護施設

熊研究所の設置を



山田 博康 議員（清和会）

問 新しくオープンする熊牧場の運営にあたり、県の支援が多かったが、今後は県との協同でやるにしても市の主体性を明確にするべきと思うが。

答 熊牧場活用推進協議会の委員会、専門部会からの提言や利活用に向けた各種取り組みへの連携においても、市が主体性を持って、地元や他の地域との連携、交流を深めながら推進してまいりたいです。

問 熊研究所の設置と研究者の継続的受け入れ、研究成果の発表会の継続的開催の財政的支援の確立を明確にし、

我が市が全国的にも有名なマダギ文化発祥の地であることを全国に発信して、観光誘客を推進し、学術的にも権威のある研究所を県の支援を願いながら協同で実現しては如何か。

答 北海道大学大学院獣医学研究科がツキノワ熊を対象に研究に取り組んでいます。研究内容や成果品データ等を研究者と市が共有し、研究成果を披露する講演会などを実施します。

議員…ふるさと会への支援を 市長…各ふるさと会と協議

答 熊研究所の設置と研究者の継続的受け入れ、研究成果の発表会の継続的開催の財政的支援の確立を明確にし、旧町への深い思い入れ

問 2年前各ふるさと会が合同でふるさと祭りを開催しています。今後どういう方法で市はかかわり、財政支援を含め数年毎の定期的開催は如何ですか。



首都圏ふるさと会

市長公約公共交通網は



三浦 倫美 議員（共産党議員団）

問 地方交付税算定に重要な、平成27年度国勢調査人口増減対策は、

答 影響額は、平成25年度算定ベースで1人当たり約9万円、「定住促進基本方針」事業等施策を展開します。

問 市長公約、公共交通網整備の進捗状況は、

答 今年度は、10月から福田、新田目、本城、御嶽、向本城、道城、上杉、下杉から市民病院へデマンド（予約）型交通の実証運行を目指しています。

問 縮小された福祉の雪事業を元に戻し、さらなる事業内容充実を。縮小とか改悪を。したつもりはありません。

業者の斡旋を行っており、各地域福祉センターには、貸し出し用除雪機を備えております。

問 道路除排雪作業オペレーターと待遇改善をサポートと待遇改善を。経験が少ない場合熟練職員が直接指導を行っており、非常勤職員の給与体系を参考に平成25年度には前年対比約6%増の賃金見直しを実施しております。



里山資源で雇用拡大を

議員…里山資本主義で活性化 市長…まさに共感できる

ついて特別の対策を。地域住民の皆様へお願いしており、作業が大変な高齢者援助は自治会、町内会、市の対応も関係部署間で協議、検討を進めます。

問 里山資本主義という視点から、北秋田の資源をとらえなおし、食料とエネルギーの地産地消と里山文化、歴史の発信で地域活性化を。

答 自然豊かで歴史、観光活性化を進めます。

文化施設の充実を



福岡 由巳 議員（無会派）

問 本市には歴史や文化を伝えるテーマごとの資料館等はいくつかありますが、まだまだ不足しているように感じます。北秋田市の歴史や産業、芸術、教育スポーツ、伝統工芸品等々の資料館などを充実させていくべきと考えます。



法改訂で保育園の将来は？

議員：関連三法による保育園は

市長：幅広く柔軟に対応する

問 2012年8月子ども・子育て支援関連三法が国会で成立しました。これまで市長は旧児童福祉法第24条を尊重する立場で答弁されていましたが、関連して質問します。①子ども・子育て支援法により変更点はあるか。②新認定こども園法による既存の保育園の移行はあるか。

答 ①について、児童福祉法第24条の規定を「保育を必要とする」条件として明確に定める見込みで、これまでより幅広く柔軟な対応が市町村に求められています。②の新認定こども

えます。これらは、市民や本市を訪れる人々の学習の場であり、後世に引き継ぐ歴史の施設となり市民の誇れる場となるはずで、また、直木賞作家の故渡辺喜恵子さんと親交があった故畠山義郎氏を含めた本市にゆかりのある文学資料館も検討して欲しいですが当局の考えを求めます。

答 文化施設の重要性は十分認識しています。今後提案の内容を吟味し、施設の有効活用と充実に努めてまいります。また本市には随分著名人がいます。今後大いに光を当てて顕彰したいと思っています。

問 来年4月開校の統合合小の通学路は安全から川井の変則三叉路、川井八幡岱間はどうか。

答 川井三叉路は測量設計を発注中です。川井八幡岱間の通学路は厳しい状況です。

用語の解説



“一般質問”とは・・・

議員が議長の許可を得て、市長等に対する市政運営全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針等について、個人の立場から質問し、あるいは報告・説明等を求めるものです。

一般質問は、議案とは関係なくすることができますが、定例会に限り認められています。

本市議会では、一般質問の手続きを通告制としており、議長の定める期間に通告することにしてはいますが、日程や順序については、議会運営委員会で決めることにしています。

また、質問の時間は30分以内とし、再質問は時間内において2回までで、会派の関連質問は認めておりません。

“質疑”とは・・・

議員が議題となっている事件について、提出者の説明後、討論や表決に入る前に疑義を質すために行う発言のことです。

質疑は、あくまでも議題となっている事件についての賛否又は修正等の態度決定が可能となるよう不明確な点について、提出者等の説明や意見を質すものであることから、質疑にあたっては、自己の意見を述べることはできないこととなっています。



臨時会

一般会計補正予算などの
6議案を可決

第2回臨時会が5月20日に市庁舎議事堂で開かれ、提出された議案を審議しました。

学校給食センター建設
工事は賛成多数で可決

臨時会では会期決定後、平成26年度北秋田市一般会計補正予算、工事請負契約の締結について3件、財産の取得について2件の議案が提案となり、審議されました。

このたびの補正予算は、歳入歳出それぞれ2千万円追加し、予算総額を237億4370万円にするものです、歳入は普通交付税を



補正予算などを審議した
第2回臨時会

追加計上し、主な歳出は、熊牧場までの道路や駐車場の補修及び既存施設の外壁塗装等となります。

単行議案のうち、学校給食センター建設工事については、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されましたが、それ以外の議案については、すべて全会一致で可決されました。

提案された議案は次のとおりです。

- ▽議案第56号平成26年度北秋田市一般会計補正予算（第1号）、▽議案第57号工事請負契約の締結について（宮前町団地建設工事）、▽議案第58号工事請負契約の締結について（消防本部高機能消防指令センター整備工事）、▽議案第59号工事請負契約の締結について（学校給食センター建設工事）、▽議案第60号財産の取得について（阿仁スキー場圧雪車）、▽議案第61号財産の取得について（伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設等建設用地）

賛否が分かれた議案の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	所属党派・議員氏名 採決結果	採決結果	緑風・公明				みらい					共産党 議員団	清和会			新創会			無党派		
			関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司憲三郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田仁吉郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一
【平成２６年第２回臨時会／平成２６年５月２０日採決】																					
工事請負契約の締結について（学校給食センター 建設工事）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	－	●

- ※全会一致で可決した議案、請願陳情の採決については除いています。
- ※無記名投票の場合は、賛成・反対の票数を記載します。
- ※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、松尾秀一議長は採決には加わりません。

議案の内容は？

※今定例会や臨時会において、活発な議論が行われた議案や注目された議案の内容を詳しく説明します。

議案番号／議案名	内 容 説 明
【議案第59号】 工事請負契約の締結について（学校給食センター建設工事）	議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を経る必要があるため提案するものです。 ◆工事場所：北秋田市米内沢字林の腰地内 ◆契約金額：7億8,840万円 ◆工期：平成27年3月10日 ◆契約相手方：秋田土建株式会社 ◆工事内容（建築・電気設備・機械設備・調理機器設備工事一式） ・センター本体：鉄骨造2階建、建築面積：1,208.51㎡、延床面積：1,399.30㎡ ・貯湯槽上屋：鉄骨造平屋建、建築面積：42.50㎡、延床面積：42.50㎡

林活議連
総会

森林の保全・緑化を

～平成26年度林活議員連盟総会

林活議連総会は、5月20日市役所で開催されました。事業の目的は、「北秋田市・森林・林業・林産業の活性化に向けて活動すること」。議員全員（20名）で構成されています。

平成25年度の主な活動は、次のとおりです。

▽北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会／平成25年5月14日
▽秋田県林活議員連盟連絡協議会役員会（県議会棟）／平成25年10月15日
▽秋田県林活議員連盟連絡協議会研修会（秋田製材



今年度の事業計画などを確認した林活議連総会

協同組合）／平成25年11月15日
▽秋田県林活議員連盟協議会定時総会（秋田市）、「全県25市町村すべての加盟を記念」／平成25年11月21日

平成26年度の事業計画

（1）森林の整備、林業、木材産業の振興及び地域の活性化に関する調査を行い、市はもとより、県連絡協議会を通して、国県等関係機関に対して要望活動を行う。

（2）木材産業を取り巻く現状を把握し、活性化に向けた方策を探るための事業を行う。

（3）秋田スギを活用した芸術作品等を通じて、木材の需要状況と加工技術を把握し、郷土の森林保全と地域樹木の育成及び緑化推進を図る。

平成26年度の役員は次の通りです。

▽（会長）松尾秀一、▽（副会長）長崎克彦、▽（事務局長）庄司憲三郎、▽（幹事）佐藤重光、小笠原寿、関口正則、▽（監事）松橋隆、板垣淳

所管事務
調査報告

天童市議会を視察研修

～広報公聴特別委員会所管事務調査

新メンバーとなった市議会広報公聴特別委員会は、課題である読まれる議会、だよりを発行するため、「まず勉強」と山形県天童市議会を訪れました。今回の調査目的は、①議会だよりに市民の声をいかに反映させるか。②当議会が今年から実施する議会報告会を市民にどのように伝えるかを研修するため、に先進的な議会報告を発行している議会として訪れたものです。

①については、天童市議会、だよりは第143号（2月1日発行）でしたが、「市民の声」欄は昭和



「市民の声」と「議会報告会」の掲載までの経緯等を学んだ天童市

53年第2号から始まり、毎号1人が寄稿して、同じ人が登場することなくこれまで142人が執筆したとのこと。議会傍聴者数が当市と比較にならないほど多く、基本的にはその傍聴者に原稿を依頼しているとのことでした。

②については、年齢、会派、所属委員会等のバランスを考慮して班編成をおこない班長を選任し、班長が議会報告の原稿を担当しているとのこと。議会報告会を実施してからまだ日が浅く、掲載にあたっては試行錯誤しながら進めている状況との説明がありました。

「読まれる議会だより」は、どこかの議会も共通の課題として取り組まれています。同市議会は100号記念の際、「どの程度読まれているか」のアンケート調査をするなど、特に力を入れているようでした。

今回の調査を参考に、さらに「読みやすい、わかりやすい、読まれる」議会だよりをめざして委員会一同努力していきたいと思つた次第です。

人事案件

本定例会に人事案同意案件が提案され、次のとおり同意することに決定しました。

◎監査委員（新任）

黒澤 芳彦 氏（米内沢）

黒澤芳彦議員に

全国市議会議長会表彰

第90回全国市議会議長会定期総会が5月28日、日比谷公会堂（東京都）で行われ、本市議会から黒澤芳彦議員が永年勤続者として表彰されました。

農業委員の推薦について

農業委員会等に関する法律第12条第2号に基づく議会の推薦に係る農業委員については、議長の指名推薦により、次のとおり決定しました。

◎農業委員

佐藤利子氏（七日市）
金田悦子氏（根田）
植岡悦子氏（米内沢）
伊東誠子氏（阿仁伏影）

「子ども議会」（中学生）が今月開会されます

昨年の小学生に引き続き、今年度は、市内中学生による「子ども議会」が、8月7日（木）午前10時から本庁舎3階議事堂において開会されます。



表彰の 黒澤芳彦 議員

また、前議員関係では、3名が同じく表彰されました。市議会議員の表彰については、市議在職3年以上が対象で、市町村合併前の町議在職期間の2分の1を在職期間として加算しています。

▼15年以上在職議員
米澤 一 氏
中嶋 力蔵 氏

▼10年以上在職議員
黒澤 芳彦 議員
松田 光朗 氏

今定例会初日の6月17日に表彰状が伝達されました。

あとがき

議員定数が、26人から20人になってから、4月と5月には臨時議会が、そしてこの度、6月定例会が開かれました。

人口減少や雇用問題など、地域課題が、深刻さを増す中、20人の議員ひとりひとりの果たすべき役割は、よりいっそう重くなっています。

議会での質疑、一般質問、答弁、討論、賛否のひとつひとつが、毎日の市民生活に影響します。

議会の様子を知るには、傍聴に来ていただくのが何よりですが、市内全戸配布されますこの「市議会だより きたあきた」が、市民と議会をつなぐ開かれた窓口としての役割を最大限に、果たすことができますよう、広報公聴特別委員会委員一同、取り組んでいます。

市民の皆さまのご意見、ご感想、お気軽にお寄せください。

（三浦 倫美）

次の定例会と
各常任委員会は

9月です

市民の皆さまの傍聴
をお待ちしています

た報公聴特別委員会

委員長 福岡 由巳
副委員長 久留嶋 範子
委員 長崎 克彦
黒澤 芳彦
武田 浩人
三浦 倫美

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
手話言語法（仮称）制定に関する意見書の提出を求める陳情書について	大館市聴力障害者会 会長 工 藤 孝 紀	採択	提出
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情書	秋田県教職員組合 執行委員長 山 懸 稔 秋田県教職員組合大館北秋支部 支部長 田 村 新 一	採択	提出